

# 家族が亡くなった後の手続き②

## -葬儀の基本-



# 1. 葬儀社選びのチェックポイント



No.	内 容
1	「大手だから」「有名だから」という理由だけで選ばない！
2	「遺族の意思」を尊重し、最適なプランを提案してくれるか！
3	「ホームページや広告」だけで判断せず、必ず「複数社の担当者と直接」に話を行う！
4	「営業担当」だけでなく、「会場での担当者」と十分な意思疎通が行えるか？
5	「見積もり」は明確で分かり易いか？香典返しの数など、「変動する要素もきちんと説明」しているか？
6	「個人情報」を悪用しない旨を明記・名言している葬儀社か？



## 2. 葬儀社に依頼出来ることの基本例

### ①葬儀社の4タイプ

1. 葬儀専門の葬儀社
2. 冠婚葬祭会社
3. **自治体やホテル等の異業種の事業者**
4. 墓地や仏壇業



### ②進行管理

- 通夜と葬儀の日程決め
- 葬儀と規模の形式決め
- 会場及び予算決め
- 司会進行
- 死亡届等の事務手続き**

### ③準備・手配

- 遺体の搬送**
- 枕飾りの手配
- 通夜・告別式設営
- 供花・供物の手配
- 改葬礼状・返礼品手配
- 遺体のケア
- 納棺手配
- 遺影の手配
- 初七日法要設営
- 後片付け

### ③その他

- 写真・ビデオ撮影
- 楽器演奏・BGM手配
- 僧侶・神官・神父の紹介
- 死亡通知状手配
- 返礼品・香典返し手配
- 仏壇・墓所の紹介 等

# 3. 相続税の控除が受けられる葬儀関連費用



## ① 葬儀費用は相続税の対象外…

- 葬儀費用は相続税の対象外となり、控除が受けられる
- 従って、葬儀での出費は詳細に記録・証憑も保管しておくことが重要です

### 葬儀費用の全国平均

費用種別	内容	金額
飲食接待費	● 通夜、葬儀、告別式で振る舞う料理・飲み物・改葬返礼品等	306,000円
寺院等への支払い	● 読経料、戒名料、お布施等	473,000円
葬儀一式の費用	● 遺体搬送、棺、祭壇の費用、葬儀会場費、火葬、骨上げ等	1,214,000円

出典：「第11回『葬儀についてのアンケート調査』報告書」（2017年：日本消費者協会）

## 4. 新しい葬儀の形(4タイプ)



- 近年、弔いの形は変化しつつあり、一般葬以外の形も増加傾向にあります
- 特徴としては、**費用の軽減化・個の思想の重視**ということが共通点です

新しい葬儀の形(4タイプ)			
No.	タイプ名	概要	費用の目安
1	自由葬	<ul style="list-style-type: none"><li>●宗教的な儀式の枠に捉われず、自由な形式で故人を送る葬儀</li><li>●故人の好みを重視。代表的なものに「音楽葬」等</li></ul>	300,000円
2	直葬	<ul style="list-style-type: none"><li>●通夜・告別式どちらも行わず、自宅or病院から火葬場に遺体を直接搬送・火葬する形式</li><li>●費用削減効果大だが、お別れ時間が短い等のデメリット</li></ul>	100,000円 ~250,000円
3	家族葬	<ul style="list-style-type: none"><li>●家族・親族を中心に、通夜・告別式・火葬を行う形式</li><li>●葬儀の参列人数減少傾向の現代に合った形式と言える</li></ul>	300,000円 ~800,000円
4	自然葬	<ul style="list-style-type: none"><li>●墓ではなく、海や山等の自然に散骨・埋葬する形式の葬儀</li><li>●代表的なものに「海洋散骨」「樹木葬」がある</li><li>●まだまだ発展途上の形式</li></ul>	50,000円 ~300,000円